



NEWS 省エネ月間の効果について

省エネルギー推進チームは2026年度の省エネルギー対策として、4/4~5/24までの冷暖房停止期間(中間期)を「省エネ月間」として設定し、下記のとおり2つの取組を行いました。

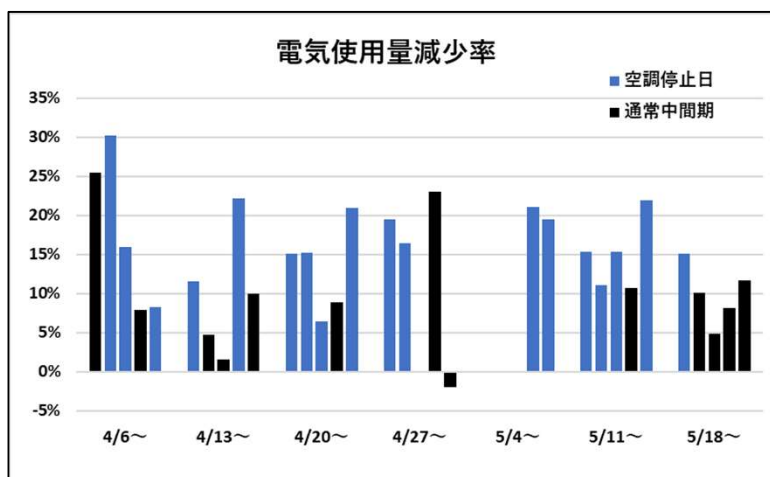
- ①空調機システムを停止。窓を開けて換気をしましょう！
- ②エレベーターの使用を控え、積極的に階段を使用しましょう！

電気使用量を省エネ月間を実施していない2025年度春季の中間期と比較すると、下記のようにになりました。

	合計(kWh)	1日平均(kWh)	1日平均減少率
2025年度(4/5~6/1)	725,998	12,517	
2026年度(4/4~5/24)	544,824	10,683	14.7%

2026年度の中間期は1日平均**14.7%減少**しました！暖房期の2026年3月は2025年3月と比較し1日平均5.1%減少しましたが、省エネ月間によりさらに9.6%減少しました。

さらに、2025年度の授業を開始した週(4/7~11)を基準とし、空調機停止日の電気使用量がどの程度減少しているか曜日ごとに比較しました。



※土日祝日については、行事の有無により数値が大きく変動するため、4/29,5/4,5/6は比較から除く。

①を実施していない通常の中間期(黒)については、**平均10.6%減少**となり、①の実施日(青)については、**平均16.7%減少**となりました！空調機を半日停止することによりさらに**6.1%減少**しました！空調機を停止することにより省エネ月間の効果を得られる結果となりました。

今後も省エネ活動の推進において皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。